

- 問1 奈良時代、唐の都である長安を手本にして現在の奈良県に建設された、東西南北に整然と区画された都を何といいますか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 藤原京 | 2. 平安京 | 3. 難波京 | 4. 平城京 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問2 班田収授法において、与えられた「口分田」をその人が亡くなった際に必ず国へ返還させると定められた、最も大きな理由として考えられるものはどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 農民に土地を私有させることで、特定の有力者に土地が集中し、国家が税を取れなくなるのを防ぐため。 | 2. 墾田永年私財法によって私有地が増えすぎたため、国家が土地を強制的に回収して再分配する必要があったため。 | 3. すべての土地と人民は国家のものであるという「公地公民」の原則を維持し、税収の基盤を確保し続けるため。 | 4. 6歳以上の子供に均等に土地を分ける際、土地が不足しないよう常に空き地を確保しておく必要があったため。 |
|--|--|---|---|
- 問3 大宝律令などの制定によって整備された律令国家の行政組織において、太政官と八省が果たした役割の背景として、最も適切な記述はどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 武士の台頭に対抗するため、太政官の下に置かれた八省が独自の軍事権を持ち、各国の守護を指揮する体制を整えた。 | 2. 国民が選挙によって八省の長官を選出する民主的な仕組みを導入することで、太政官による独裁を防ぐ目的があった。 | 3. 地方の有力豪族が世襲で太政官の役職を独占することで、中央政府が地方自治に干渉できないようにする仕組みとした。 | 4. 天皇を中心とした中央集権的な統治を実現するため、太政官が合議によって政策を決定し、八省が専門的な実務を遂行する仕組みとした。 |
|--|--|---|---|
- 問4 奈良時代の聖武天皇の時代を中心に、仏教の力で国家の安定を図る「鎮護国家」の思想に基づいて発展した文化があります。この文化は、遣唐使によってもたらされた唐の進んだ制度や、シルクロードを経由した西アジアの文化の影響を強く受けているのが特徴です。この文化の名称と、その国際的な性格を象徴する施設についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 天平文化と呼ばれ、正倉院にはベルシャ風の器物などの国際色豊かな宝物が納められた。 | 2. 弘仁・貞観文化と呼ばれ、最澄や空海が伝えた密教の影響を受けた仏像が多く作られた。 | 3. 国風文化と呼ばれ、日本独自の美意識に基づいたかな文字や物語文学が発展した。 | 4. 飛鳥文化と呼ばれ、法隆寺の建築に見られるように中国や朝鮮半島の技術が取り入れられた。 |
|---|---|--|---|
- 問5 律令国家では「公地公民」の原則のもと、人々に口分田を与えて税を徴収する班田収授法が行われました。しかし、人口の増加により土地が不足したため、743年に新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることを認める法令が出されました。この法令の名称を選択してください。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|----------|-----------|
| 1. 三世一身の法 | 2. 墾田永年私財法 | 3. 地租改正法 | 4. 班田収授の法 |
|-----------|------------|----------|-----------|
- 問6 奈良時代の文化や社会を伝える記録について述べた次の文のうち、当時の地方の状況や伝承を記した書物の特徴として最も適切なものを選びなさい。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--------------------------------------|
| 1. 全国の戸籍に基づいて、人々に割り当てられた区分田の面積や位置が記録された。 | 2. 貴族から防人、農民にいたるまで、幅広い身分の人々が詠んだ歌が収められた。 | 3. 天皇の系譜や国家の成り立ちについて、神話の時代から年代順に記述された。 | 4. 各地の特産品や地名の由来、その土地に伝わる神話や物語が記録された。 |
|--|---|--|--------------------------------------|
- 問7 弥生時代の使節派遣では中国の皇帝から称号を得ることが重視されていましたが、奈良時代の遣唐使においては、日本の国家体制にどのような影響を与えることを期待していましたか。最も適切な記述を選びなさい。 (2019年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 特定の有力者が貿易を独占し、富を蓄えるための特権を唐から得る | 2. 国内の有力豪族を抑えるため、中国の皇帝から日本全体の統治権を認めてもらう | 3. 律令に基づく国家体制を整備するため、進んだ政治制度や文化を導入する | 4. 大規模な対外戦争に備え、唐から最新の武器や兵士を借り受ける |
|-----------------------------------|---|--------------------------------------|----------------------------------|
- 問8 ある天皇が発した命令文の中で、「人々の救済や仏教を盛んにするために、金銅の大仏を一体造る。このことを全国に知らせ、私の気持ちを皆に知ってほしい」という趣旨の内容が記されています。この命令を出した、東大寺の大仏造立を命じた人物は誰ですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 推古天皇 | 2. 天武天皇 | 3. 桓武天皇 | 4. 聖武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問9 東大寺正倉院に収められている宝物の特徴と、その背景について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 遣隋使が持ち帰った、中国の隋の時代の仏像や経典を中心に、日本独自の国風文化の影響を受けた品々が収められている。 | 2. 平氏の全盛期に、瀬戸内海の海上交通の安全を祈願して各地から集められた、華やかな装飾品や武器が中心である。 | 3. 室町時代の足利義政が収集した、禅宗の影響を強く受けた水墨画や茶器など、簡素で気品のある品々が収められている。 | 4. 遣唐使の派遣などを通じて、西アジアや中央アジアの文化がシルクロード経由で伝わったことを示す国際的な品々が多い。 |
|--|---|---|--|
- 問10 奈良時代の律令制度において、全国の成人男子に課された負担のうち、平城京での10日間の労役に代えて、布などを都へ納めることで認められていた税制度を何と呼びますか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|-------|
| 1. 調 | 2. 庸 | 3. 租 | 4. 雑徭 |
|------|------|------|-------|
- 問11 古代の日本において、天皇を中心とした国づくりを推進するために実施された大規模な事業について、学習ノートの記述として正しいものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 墾田永年私財法を廃止し、すべての土地を公地とした | 2. 御成敗式目を制定し、武士に対する裁判基準を明確にした | 3. 廃藩置県を実施し、地方支配を中央政府の直轄とした | 4. 平城京を造営し、国家の威信を内外に示した |
|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-------------------------|
- 問12 奈良時代において、疫病や社会不安を仏教の力によって鎮め、国家の安定を図ろうとする「鎮護国家」の思想に基づき、平城京に東大寺を、全国に国分寺・国分尼寺を建立することを命じた天皇は誰ですか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天智天皇 | 2. 聖武天皇 | 3. 天武天皇 | 4. 桓武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問13 743年に出された墾田永年私財法が、その後の日本の社会に与えた影響や背景について、正しい説明はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 公地公民の原則を強化し、すべての土地を国が管理する仕組みを徹底させた。 | 2. 開墾した土地は三世代に限り私有が認められたが、それ以降は国に返還することとされた。 | 3. 土地の永久私有が認められたことで、貴族や寺社が大規模な私有地である「荘園」を形成するきっかけとなった。 | 4. 農民に等しく土地を配分する班田収授の法が、この法令によってより確実に実施されるようになった。 |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 平城京	710年に元明天皇によって遷都された都です。唐の都・長安にならって碁盤の目のように区画された「条坊制」が取り入れられ、政治や経済の中心地として栄えました。794年に遷都された平安京（京都）と混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 3 すべての土地と人民は国家のものであるという「公地公民」の原則を維持し、税収の基盤を確保し続けるため。	班田収授法は、土地は国家からの貸与品であるという立場をとっています。一代限りの貸与とすることで、土地が世襲されて私有地化するのを防ぎ、国が直接人民から租税を徴収し続ける体制を維持しようとした。しかし、のちには人口増加による土地不足や、農民が負担に耐えかねて逃亡するなどの問題が生じ、この制度は行き詰まることとなります。
問3	答え 4 天皇を中心とした中央集権的な統治を実現するため、太政官が合議によって政策を決定し、八省が専門的な実務を遂行する仕組みとした。	律令国家の目的は、中国（唐）の制度を参考に、天皇に権限を集中させた中央集権体制を築くことにありました。太政官は大臣や大納言といった高官の合議によって国政の重要事項を審議・決定し、その決定に基づいて八省が戸籍の作成（民部省）や役人の養成（式部省）などの実務を担いました。これにより、全国を体系的に支配する組織構造が作られました。
問4	答え 1 天平文化と呼ばれ、正倉院にはペルシャ風の器物などの国際色豊かな宝物が納められた。	聖武天皇は仏教による国家の平安を願い、東大寺の大仏造立や全国への国分寺・国分尼寺の設置を命じました。この時代の文化は「天平文化」と呼ばれ、遣唐使の往来によって唐の文化が直接流入したほか、正倉院の宝物にはギリシャやペルシャ、インドに起源を持つ文様や器物が含まれており、当時の日本が国際的なネットワークの中にあったことを示しています。
問5	答え 2 墾田永年私財法	当初は三世にわたる私有を認める「三世一身の法」が出されましたが、期限が来ると土地を返さなければならないため開墾の意欲が続きませんでした。そこで、開墾をさらに促進するために土地の永代私有を認めるこの法が制定されました。この結果、公地公民の原則が崩れ、有力な貴族や寺社が広大な私有地である「荘園」を形成するきっかけとなりました。
問6	答え 4 各地の特産品や地名の由来、その土地に伝わる神話や物語が記録された。	この書物は「風土記」を指しています。中央政府が地方を統治するにあたり、単に人口や税収を把握するだけでなく、その土地の地理的背景や文化的な由来を整理させる目的がありました。特に「出雲国風土記」などは、ほぼ完全な形で今日まで伝えられており、古代の地方社会の様子を具体的に示しています。
問7	答え 3 律令に基づく国家体制を整備するため、進んだ政治制度や文化を導入する	奈良時代の朝廷が唐に使節を送った主なねらいは、当時の世界で最も進んでいた唐の政治の仕組みや文化を直接吸収することにあります。持ち帰られた知識や制度は、日本国内で律令制度を確立させ、官僚機構を整えるための重要な基盤となりました。これは、称号によって王としての正当性を得ようとした卑弥呼などの時代とは異なる、組織的な国家形成を目的とした外交姿勢です。
問8	答え 4 聖武天皇	『続日本紀』に記された「大仏造立の詔」に関する記述です。聖武天皇は、仏の力によって人々の苦しみを取り除き、国を安定させるために東大寺に大仏を造ることを決意しました。この事業には、弾圧されていた行基を登用するなど、民間の協力も得て進められました。
問9	答え 4 遣唐使の派遣などを通じて、西アジアや中央アジアの文化がシルクロード経由で伝わったことを示す国際的な品々が多い。	奈良時代は遣唐使が頻繁に派遣され、唐の文化とともに、さらに西方のペルシアやインドの様式を取り入れた文物が日本に流入しました。正倉院に伝わる「螺鈿紫檀五絃琵琶（らでんしたんのごげんびわ）」や「白瑠璃碗（はくるりのわん）」などは、当時の日本がユーラシア大陸の東の終着点として、国際色豊かな天平文化を形成していたことを象徴しています。
問10	答え 2 庸	律令制における租税のうち、都での労役に代えて布を納める制度が庸です。これに対し、口分田の面積に応じて稲を納めるのが「租」、地方の特産物を納めるのが「調」、地方での土木工事などの労役（年間60日以内）が「雑徭」です。
問11	答え 4 平城京を造営し、国家の威信を内外に示した	奈良時代に建設された平城京は、古代の律令国家がその安定した統治能力と経済力を示すために行った象徴的な事業です。選択肢にある御成敗式目は鎌倉時代、廃藩置県は明治時代の出来事であり、古代の天皇を中心とした国づくりの文脈とは異なります。
問12	答え 2 聖武天皇	奈良時代の中頃、社会の混乱を収めるために仏教を深く信仰した聖武天皇が行った政策です。東大寺には国の平和を象徴する大仏が造立され、地方ごとに建立された国分寺・国分尼寺とともに、仏教による国家の守護を目指しました。天武天皇は律令国家の基礎を築いた人物、桓武天皇は平安京へ遷都した人物であり、時代や政策が異なります。
問13	答え 3 土地の永久私有が認められたことで、貴族や寺社が大規模な私有地である「荘園」を形成するきっかけとなった。	墾田永年私財法は、新しく開墾した土地の「永久私有」を認めるものでした。この制度を利用して、財力のある貴族や大きな寺社が農民を使って大規模な開墾を進めた結果、私有地である「荘園（初期荘園）」が各地に誕生しました。これは、すべての土地と人民は国家のものであるとする「公地公民」の原則が崩れていく大きな要因となりました。